

# 第15回 L G – N e t 研修会 in I W A K I News letter

令和7年5月12日 Vol.2 お申込最終案内号

## 1 登壇講師と演題です

当日登壇される講師と、演題をお知らせします。講演の概要については、今号と、次号以降のニュースレターでご紹介する予定です。

<b>講演①</b>		<b>鷺巣 研二</b>
<b>滞納整理の基本</b> ～法律に基づいた滞納整理の徹底を！～		特定非営利活動法人 ローカルガバメント・ネットワーク 専任講師
<b>講演②</b>		<b>横山 拓史</b>
<b>普通の徴収</b> ～チームで成果を確保する、戦略・戦術と機動性～		東京都羽村市 納税課 機動整理グループ 主査
<b>講演③</b>		<b>松原 勝利</b>
<b>明日からできる債権管理 貸付金編</b>		高知県 幡多広域市町村圏事務組合 租税債権管理機構 徴収管理監
<b>講演④</b>		<b>柏木 恵</b>
<b>これからの地方における 税財政・税徴収を考える</b>		キャノングローバル戦略研究所 研究主幹

## 2 登壇講師紹介～鷺巣研二講師～

登壇講師お一人目は、元横浜市債権回収担当部長で、NPO法人ローカルガバメント・ネットワーク専任講師の鷺巣研二講師です。

技術的なテーマから職員のモチベーションアップまで、「徴収」に関する内容を様々な切り口でわかりやすくお話することで、ご好評いただいている講師です。

今回は「滞納整理の基本～法律に基づいた滞納整理の徹底を！～」という演題です。

演題の字面だけを見ると「あたりまえじゃないか」と思われるかもしれません。

鷺巣講師からは、徴税吏員の「常識」が、根源的に法律の建て付けに沿っていないのではないだろうか？という投げかけを今回提示いただきました。

「説得して分納」、「差押えは最後の手段」という認識、言葉は比較的よく聞くとお聞きしますが、法律を(その立法趣旨も含めて)正しく解釈したときに、これは間違っていると看破します。しかし、ご承知のとおりこういう考えは多くの徴税吏員の間で未だに「常識」として通用しており、この状況を「地方税の滞納整理はガラパゴス化している」と憂いているのです。

どこが、何が間違っているのか。その間違いにより法律と現実がどうズレてしまっているのか。当日の講演にご期待ください。

### 3 登壇講師紹介～横山拓史講師～

お二人目は、横山拓史講師です。今回は「普通の徴収」という演題でご登壇いただきます。

東京都羽村市で納税課機動整理グループ主査でいらっしゃる横山講師は、民間勤務を経て羽村市に入庁されました。

「個をチームにする」という点に主眼を置いた取組により、役所の宿命である人事異動に耐える組織づくりを模索し、実践してこられました。今回はその一端である初任者の育成と意欲の向上、戦略と戦術による問題解決技法、機動性のある徴収などについて、ご講演いただきます。

「チーム」をマネジメントされている立場の方はもちろんですが、「チーム」としてプレイしている立場の方にも大いに参考になる内容ですので、是非ご期待ください。

#### コラム いわき市にまつわるお話

戊辰戦争の時に、日本で初めて野戦病院が開設されました。奥羽出張病院という病院です。当初現在の茨城県北茨城市に開設されましたが、戦線の北上に従い、いわき市の性源寺に置かれました。この野戦病院は官軍側が設置し、阿波蜂須賀藩御典医だった関寛齋という蘭方医が頭取として指揮をとりました。司馬遼太郎が書いた「胡蝶の夢」という小説の主人公の1人です。寛齋は現在の赤十字思想に通じる敵味方分けへだてなく治療するという方針で多くの負傷者を救助し、賞賛されました。

その後寛齋は徳島で長く医師として開業した後、72歳で大農場を開設するため北海道に渡ります。開設された関農場が現在の北海道陸別町で、関寛齋は陸別町開拓の祖と呼ばれています。

このご縁で、10年以上前になりますが、筆者もいわき市にお邪魔し、性源寺などを訪問させていただきました。まったくの余談です。

### 4 参加申込は5月31日までです

まだお申込されていない方は、是非お早めにお申し込みください。

参加申込は、下記QRコードよりお願いします。また、登録メールアドレスが画像メールの受取に制限がある場合、登録状況が確認できない場合がありますのでご注意ください。



<https://forms.gle/sXoZecoretCL9vF7A>